

「サンゴの村宣言」SDGsプロジェクト

Green Fins（グリーンフィンズ）とは、サンゴや自然環境にやさしいダイビングやシュノーケリングの国際的なルール・ガイドラインです。Green Fins のポスターを参考に、今回は日焼け止めがサンゴにどんな影響を与えるのか、みなさんも一緒に考えてみましょう。

沖縄も各地で海開きが行われ本格的なマリンスポーツのシーズンがやってきました。日差しが強い沖縄では日焼け止めは日常生活を送る上でも欠かせないものとなっています。

しかし、日焼け止めに含まれる“オキシベンゾン”や“オクチノキサート”などの化学物質は、少量であってもサンゴに害を与えるという研究結果が報告されており、すでにハワイやパラオなど海外ではその成分が含まれている日焼け止めの規制が始まっています。

サンゴにやさしい日焼け止め（サンゴに害があると証明されている化学物質を含まない）を使うことで、有害な化学物質が海に流れ込むことを避けられます。

ハワイをはじめ多くの国で規制されている紫外線吸収剤“オキシベンゾン”、“オクチノキサート”はもちろん、そのほかパラオで規制されている成分も避けることで、よりサンゴへの負担を減らすことができます。サンゴが誤って摂取してしまうという“ナノ粒子”が使用されているものを避け、自然由来の製品を選ぶことも推奨されています。みなさんも普段使っている日焼け止めの成分を確認してみたいかがでしょうか。

そのほか、長袖や帽子を活用する、なるべく日陰にいるなど、日焼け止め以外の方法でも日焼けを防いでいきましょう。



☆サンゴに悪影響を及ぼす日焼け止めの成分☆

オキシベンゾン、オクチノキサート（※別名：メトキシケイヒ酸エチルヘキシル）、オクトクリレン、エンザカメン、トリクロサン、メチルパラベン、エチルパラベン、ブチルパラベン、ベンジルパラベン、フェノキシエタノール

お問い合わせ：恩納村 SDGs 推進事務局（企画課内） sunna.sdgs@gmail.com

Sunna ちゃん LINE スタンプ & デザインバリエーション第 2 弾！

LINEスタンプ販売中！



LINE
スタンプページ



デザイン
バリエーション